



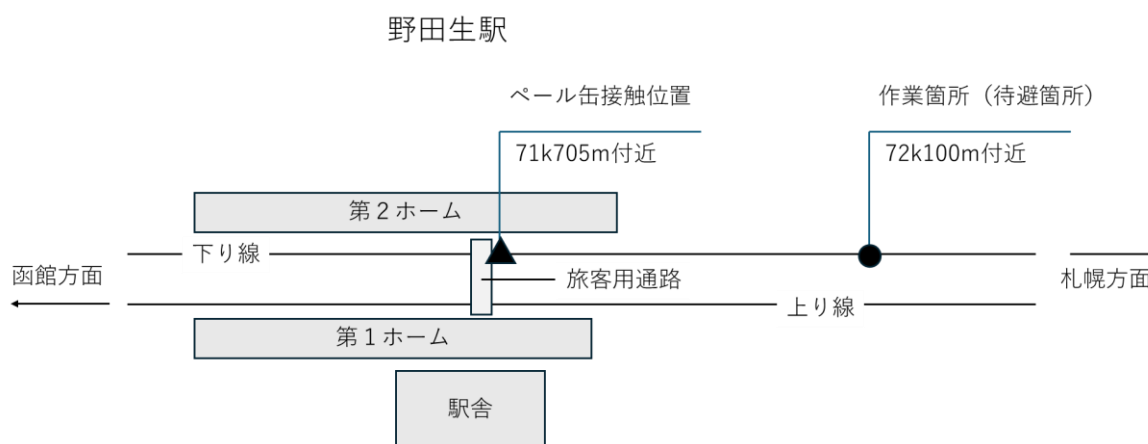
2025 年 6 月 28 日

ペール缶が列車と接触した事象について

本日（6 月 28 日）、列車が弊社発注の請負工事において使用するペール缶と接触する事象が発生いたしました。接触した列車は、運転に支障がないことを確認し、運転を再開しております。

この事象によるけが人はいません。現在、詳細について調査を進めております。

1. 発生日時 2025 年 6 月 28 日（土）11 時 8 分頃
2. 発生場所 函館線 野田生駅構内 下り線
3. 関係列車 特急 北斗 7 号（函館駅発 札幌駅行き、定員 338 名、乗車 204 名）
4. 概 要 野田生駅構内において、弊社が発注した工事を請け負っていた㈱大森組が、線路際に防草シートを敷設する作業を行っていました。防草シートを敷設していた作業集団は適切に作業箇所（待避箇所）で列車待避を行っていましたが、作業集団から離れて駅舎に器具を取りにいていた作業員は、下り線に列車が進來することを認識せずに下り線でペール缶の運搬準備をしていたところ、当該列車が進來してきたため緊急的に列車待避を行いました。しかし、ペール缶 2 個が線路内に残置されたままとなり、列車と接触しました。
なお、接触したペール缶は列車に比べて非常に軽量であるため、接触によって列車が脱線する危険性はありませんでした。



※列車見張員 下り線 65k942m 付近配置（待避済）
上り線 74k725m 付近配置（待避済）

事象発生箇所 略図

5. 接 触 物 ペール缶 2 個
(1 個目)材質 鉄
 寸法 直径 300mm 高さ 350 mm
 重量 約 1.2kg

(2 個目)材質 プラスチック
 寸法 直径 300mm 高さ 350 mm
 重量 約 0.8kg

※それぞれのペール缶に防草シートを固定するための鉄製のピン(直径 9 mm、長さ 400 mm、重さ約 200g) が約 30 本ずつ入っていました。



鉄製ペール缶(イメージ)



プラスチック製ペール缶(イメージ)

《会社としてのコメント》

2025 年 6 月 25 日にも同様の事象を 2 件発生させ、請負会社を含め注意喚起を実施していたにもかかわらず、同様の事象が発生させたことを重く受け止め、お客様や関係する皆様にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、再発防止に向け取り組んでまいります。

《再発防止策》

協力会社含め、事象の周知と注意喚起を行いました。詳細は確認中のため原因判明後、再発防止策を講じます。